



☆チャウと、東京制覇だ！☆

ペット犬と暮らすマナーとルールをアート感覚で広めよう！

History of Merry Project ☺

「Merry」とは、震災後の神戸や9・11テロ後のNYなど、“笑顔”を失った街を、“笑顔”で元気づけようというコンセプトからはじまったアート活動。「笑顔のポスター」で街をラッピングしたり、笑顔そのものを生むボランティア活動（ゴミ拾い）を行ってきた。

02年3月、Merry in KOBE

(震災後の神戸での復興記念事業としての展覧会)

03年2月 Merry in NY (テロ後1年が経過したNYでの展覧会)

7月 Merry in TOKYO

(六本木ヒルズをメイン会場に、渋谷、丸の内、汐留など東京の街を舞台に行った展覧会)

Merry ゴミ拾いプロジェクト

03年7月 at 恵比寿、8・9月 at 六本木、10月 at 新橋、11月 at 渋谷、12月 at 渋谷 すっぴんプロジェクト (美容師とのコラボレーション)



2004.MAY
六本木で
何かが起こる!?

Merry in ROPPONGI

To Be
Continued...



www.21merry.net

Merry in TOKYO

愛犬と一緒にできる社会貢献

Merry Bowwow Project はじまる。

犬が好きな人も嫌いな人も笑顔になれる。

笑顔で街を元気にするコミュニケーション・アート活動を通じて「Merry Bowwow」の輪を広げていこうとするプロジェクトです。



♡♡ 犬と生活したい♡♡

プームの裏で起きている
フン害ご近所トラブル

いま、日本には約1100万頭の犬が飼われているそうだ。確かに、犬を同伴できるカフェやショップも増え、街中で犬を連れてくる人を見かけるようになった。しかし、世の中、犬が好きな人ばかりではないし、残念ながら、マナーを知らない、守らない犬の飼い主もいる。ペットプームの裏で、犬をめぐるご近所トラブルも多発しているのだ。もちろん、そこに笑顔はない。

とくに犬の排泄物の不始末に「憤慨」している人は少なくない。歩道や公園などで、犬のフンの始末を怠った人に罰金を課す条例を設けている自治体もあるが、「現行犯」を押さえるのは難しい。フン害の対策としては、民家の垣根や公園、緑地に「フンは持ち帰ろう」という看板を掲げるのが精一杯。中には「犬の立ち入りを禁止してしまえ」と、公園内に立て札を増やしているところもある。犬にとって最大の楽しみである散歩の場所にタブー地域が増えてしまっ

コミュニケーションはアートだ！
社会に「イイコト」してみませんか？

都市化といった環境の中で、人と犬はどのように共生したらいいのか。犬を通じて街づくりを考えられないか。そんなプロジェクトが、いま、動き始めている。それが「Merry Bowwow Project」だ。これはアートディレクターの水谷孝次さんが手がける、笑顔を広める活動「Merry」の一環。昨年は、「同じTシャツを着た1000人の若者が、東京の街でゴミ拾いをする光景はひとつのポップ・アート」と、ボランティアのゴミ拾いプロジェクトを実行した。環境問題を身近に感じてもらうのが狙いだった。

「Merry Bowwow Project」は、その犬版といえはわかりやすい。犬が好きな人とそうでない人とが一緒になって、放置されたフンを片づけながら、犬と暮らすルールとマナーを考え、それをアートとして発信するプロジェクトだ。街から犬をめぐるトラブルをなくし、犬とすれ違う人たちに笑顔がふれる、そんな「絵」を一緒に描いてみませんか？